

令和7年度 福島県立白河高等学校

学校経営・運営ビジョン

教育目標

- I 知識を深め、情操を豊かにし、個性の伸長を図る。
- II 健康を増進し、明朗闊達にして相互敬愛の公民的資質を育成する。
- III 自由と正義を愛し、自主的・自律的に行動する態度を養う。

登龍 ～君はどこまで登って行けるのか。挑戦する君を待っている～

福島県立白河高等学校長 増子 文隆

本校は、今年度、創立百三周年を迎え、時が移り人は変わっても、「登龍(とりゅう)」の志のもと、本校の校風である「文武両道」「質実剛健」という精神を大切に、県内は勿論のこと、県外においても活躍する数多くの有為な人材を輩出し、県南地域の教育を牽引する、大きな使命を担ってまいりました。

今春の卒業生もその伝統を見事に引き継ぎ発展させて、国公立大学合格者数114人、私立大学合格者数364人というすばらしい実績を残してくれました。今後は更に、それぞれの生徒が自分の夢をもち、その夢に向かってチャレンジして、光り輝いていけるよう、教職員一同、一致団結して取り組んでいく所存です。そのためにも、学校としての明確な進路達成目標を、下記のように設定しました。

令和7年度～令和16年度 白河高校進路達成目標

- 1 東大、京大、国公立大医学部のいずれかに、10年で10人以上合格
- 2 毎年、国公立大学に100人以上合格

国公立大学への進学希望者が多い本校では、特進クラスである理数科を筆頭に、習熟度別クラス編成により、どのレベルの生徒も力を伸ばせるよう教育しております。このシステムを効果的に活用し、生徒それぞれの能力を最大限に引き出せるよう指導してまいります。

また、本校では、学校行事や部活動に対しても仲間と切磋琢磨しながら積極的に取り組み、先の見えないVUCAの時代においても、たくましく生きる心身を養っていきたいと考えております。保護者の皆様や地域の皆様におかれましても、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

＜重点目標＞

学力の向上

進路希望の実現

健全な心身の育成

開かれた学校づくりの推進

＜重点事項＞

- 1 生徒の様々な進路希望を実現するための教育課程の研究に努めるとともに、地域との連携を強化し、開かれた教育課程の実現を図ります。
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現のために、質の高い授業を実践するとともに、評価法についての研究をすすめる、授業改善に努めます。
- 3 ICTを有効に活用し、自ら学び深く考える態度を育て、思考力・判断力・表現力の向上を図ります。
- 4 家庭学習の定着化を図り、自主的な学習習慣を身につけさせます。

- 1 進路講演会や個人面談をとおして、進路意識の向上を図ります。
- 2 多様な入試制度を有効活用して進路目標実現を図るため、小論文・面接・教科添削等の個別指導を充実させます。
- 3 進路指導懇談会等によって進路情報の共有化と進路指導部・各学年・各担任間の連携を密にします。
- 4 コース制活動、HR活動、生徒会活動、学校行事等を通して、探究心や課題解決力を高め、社会で活躍できる力を身につけさせます。

- 1 挨拶や服装、清掃等、基本的な生活習慣の確立に努めます。
- 2 文武両道の精神の下、学習と部活動との両立を図らせるとともに、生徒会活動等とおして協働性を身につけさせます。
- 3 健康と安全、防災に関する意識を高めるとともに、安全安心な学習環境の整備に努めます。
- 4 スクールカウンセラーや外部専門機関と連携して教育相談を充実させ、心身の健康保持に努めます。

- 1 郡内一周駅伝大会やふくしま教育週間等の行事をとおして、地域の方々の理解を促進して連携を強化します。
- 2 学年便りやホームページ等とおして、情報発信に努めます。
- 3 各種学校行事の内容を工夫するとともに、保護者参加の機会を設けるよう努めます。
- 4 同窓会・後援会や地域の方々との連携を深め、信頼される学校づくりに努めます。